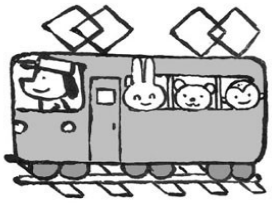


ブックステーション

和白★本の駅

不定期　春はあけぼの号
Vol.38　2024年3月

春はあけぼの

辰年になり、時の**たつ**のは早く、２カ月を過ぎました。
冒頭の言葉は、大河ドラマ『光る君へ』に登場する**清少納言**の『枕草子』の冒頭部分です。「春はあけぼの～」を**斉唱**すると、心が**なごむ**かなと思う今日この頃です。

和白図書館イベントのご案内
【詳細はお尋ねください】

おはなし会
毎週土曜日　11時～
場所：和白図書館おはなしのへや

3月2日　9日　16日　23日
※3月30日は工作教室です。
4月6日　13日　20日　27日
5月4日　11日　18日　25日

赤ちゃんおはなし会
毎月1回　11時～
場所：コミセンわじろ　2階和室

3月14日　4月11日　5月9日

本の処方箋
～さまざまなお悩みに司書がおすすめの本をご紹介します～

症状…将来のことが心配です。心配症に効く本はありますか？

処方箋１：「老い」という未知の領域へ不安を感じるあなた。**『老いを考える100冊の本』**には、道しるべとなる本が紹介されていますよ。（安）

処方箋２：まどみちおさんの100歳記念詩集**『逃げの一手』**を読み、深呼吸を。人生の大先輩の詩が心をなだめてくれます。（花）

処方箋３：心配なことがある時もこの言葉**『だいじょうぶだいじょうぶ』**をとなえると、力が湧いてくる魔法の呪文です。（宮）

処方箋４：せわしない生活の中に**『クラシックの贅沢』**な潤いを！（付録CD付）（須）

※『～』は本のタイトルです。和白図書館に所蔵しています。

各駅停車　～「ＪＲ福工大前駅の昔クイズ」駅～

和白図書館の最寄り駅、JR福工大前駅のかつての駅名は、筑前新宮駅でした。
1958年（昭和33年）に、ある有名な方が筑前新宮駅に降りられました。
その「有名な方」とはどなたでしょう？

①昭和天皇・皇后両陛下　②マリリン・モンロー　③力道山　④美空ひばり

※答えは裏面にあります。　※参考文献：『福岡鉄道風土記』タイトルコード：1009910003544

和白図書館員が贈る　今回のおすすめ本

黄色い野の花、教えておくれ

『たんぽぽの秘密』

森乃 おと／著　雷鳥社　2020.3
タイトルコード：1000001897049

「たんぽぽ」研究者との出会いから、著者は、どうしても「たんぽぽ」の魅力を伝えたいと思ったそうです。
本書では、生態、種類、分布、文学、料理など、「たんぽぽ」をありとあらゆる角度からひもときます。
「たんぽぽ」という、音に特徴のある名前の由来が「鼓（つづみ）」であるという説は聞き覚えがありましたが、この名前がいつから使われ出したかは分からない、というのは驚きでした。
万葉集や古今和歌集には「たんぽぽ」と思われる花はなく、古代日本人の審美眼に適わなかったのか、という謎があるが本書では迫れなかったとのこと。続編を期待したいところです。
この春、いつもより長く「たんぽぽ」を見つめてみたくなりました。（花）

名文は色あせない

『巻頭随筆百年の百選』

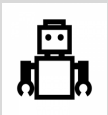
文藝春秋／編　文藝春秋　2023.1
タイトルコード：1000002173236

『文藝春秋』が創刊されてから百年余り。本書は、その間巻頭に書かれた七千もの随筆の中から、編集者が選び抜いた百編を載せた随筆集です。
寄稿者は総理大臣から有名俳優まで、職種を問わず様々です。芸がない「芸**/ー**人」に嘆く淡谷のり子、信長嫌いの藤沢周平、「木」が書けない向田邦子、元旦に愛猫を亡くした養老孟司、顔筋マッサージを勧められた加藤紘一、瀬戸内晴美(寂聴)の「珍友」遠藤周作、歌舞伎大好き小泉純一郎などなど。
どの随筆も短いながら、そのエピソードに筆者の人となりが滲み出ています。くすっと笑ったり、しみじみ共感したりしながら、百人百様の名文を味わってみませんか？（須）

孤独をなくすために

『オリヒメ　人と人をつなぐ分身ロボット』

吉藤 オリィ／著　加藤 悦子／文　子どもの未来社
2023.1　タイトルコード：1000002172830



東京に、「オリヒメ」というロボットが接客してくれるカフェがあります。色々な理由で外出困難な人たちが、自分の分身ロボットを遠隔操作して働いています。AI(人口知能)ではなく、人が、スマートフォンやPCを使って動かしています。
このロボットを作った吉藤オリィさんは、登校拒否の経験を通して、誰からも必要とされていないと感じる孤独の辛さを知りました。難病で寝たきりの人が、「ありがとう」「ごめんね」と言うばかりではなく、「ありがとう」と言ってもらえる社会を作るために、このロボットは生まれました。なにもしなくていいではなく、なにかしたくなる素敵なロボットです。カフェだけでなく、様々な場所で活動の場を広げています。（安）

今平安がアツイ！

『古文単語キャラ図鑑　かなり役立つ!』

岡本 梨奈／著　新星出版社　2019.1
タイトルコード：1000001775925

古文は難しいと思っている人のために、古文単語をキャラクター化して紹介している本です。マンガもついているので、気軽に楽しく読み進めることができます。恋愛や外見、動作など章ごとに単語が分けられていますが、順番通りではなく、ページを開いて気になる単語だけ拾い読みすることもできます。興味がある単語がでてきたら、日常会話に取り入れてみるのも面白いかもしれません。
今と昔では同じ単語でも意味が違うものもあり、知れば知るほど古文沼にはまってしまいそうな予感。例えば「にほふ」は今では嗅覚の表現ととらえる人が多いと思いますが、古語では「視覚」が基本だそうです。それはどうしてなのか、ぜひ読んで確かめてみてください。（宮）

館長のひとりごと

朝夕に何気なく発する「行ってきます」や「ただいま」は外国語への翻訳が難しいらしい。「行ってらっしゃい」や「お帰りなさい」も然り。フランスで上映された昔の日本映画では「ただいま」の字幕がBonsoir(こんばんは)と聞いて、違和感を覚えた。
意識せずに毎日繰り返しているが、単なる挨拶とは違うはずだ。短いやり取りの中に、互いの無事を祈り、何事もなく帰宅できたことへの感謝や労い、日々の暮らしの安寧を願う思いが込められていると思う。
2024年元日、平和な日常を瞬時に破壊する大震災がまた発生した。家族揃って新年を迎え、一年の無事を願い、食卓を囲んでいた時に被災した方も多いと聞く。
ここ数年来のコロナ、戦争、自然災害などにより、普通の生活を営めることがいかに有難いことか気付かされた。毎日職場に向かい、夕方何事もなく家に戻れることを当たり前と思わず、いくつかの幸運に支えられていることに感謝しながら、この一年を過ごしたい。（小）

クイズの答え：① ご巡幸で降りられました。駅舎は和白町と新宮町の境にありましたが、駅の玄関前に**ゴザ**を敷いて座り、お**待ち**したのは和白**町**の方々で**ざ**いました。

福岡市和白図書館
〒811-0213　福岡市東区和白丘1丁目22番27号
JR福工大前駅内 コミセンわじろ4F
TEL　092-608-8490
開館時間　10:00　～ 18:00
＊本の検索・ご予約＊福岡市総合図書館ホームページ
（https://toshokan.city.fukuoka.lg.jp/）